

## 令和5年度 英語研修3（パラフレーズ）報告書

【開催日時】令和5年 7月 19日（水）・20日（木）

① 19日 10:00～12:00

② 19日 13:30～15:30

③ 20日 10:00～12:00

④ 20日 13:30～15:30

（各回のプログラムは同じ）

【開催場所】WEB（Zoom）

【講師】梅村綾子（名古屋大学博物館 特任助教）

【参加対象者】大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【定員】各回3名

【目的】大学や研究機関でのグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、伝わりやすい英文を作成する練習を行う。

【プログラム】

- ・自己紹介/研修の目標（10分）
- ・事前課題の確認（60分）講師による添削および解説と、参加者全員での提出文の読みあい
- ・当日の課題（20分）
- ・当日課題の確認（20分）
- ・まとめ（10分）

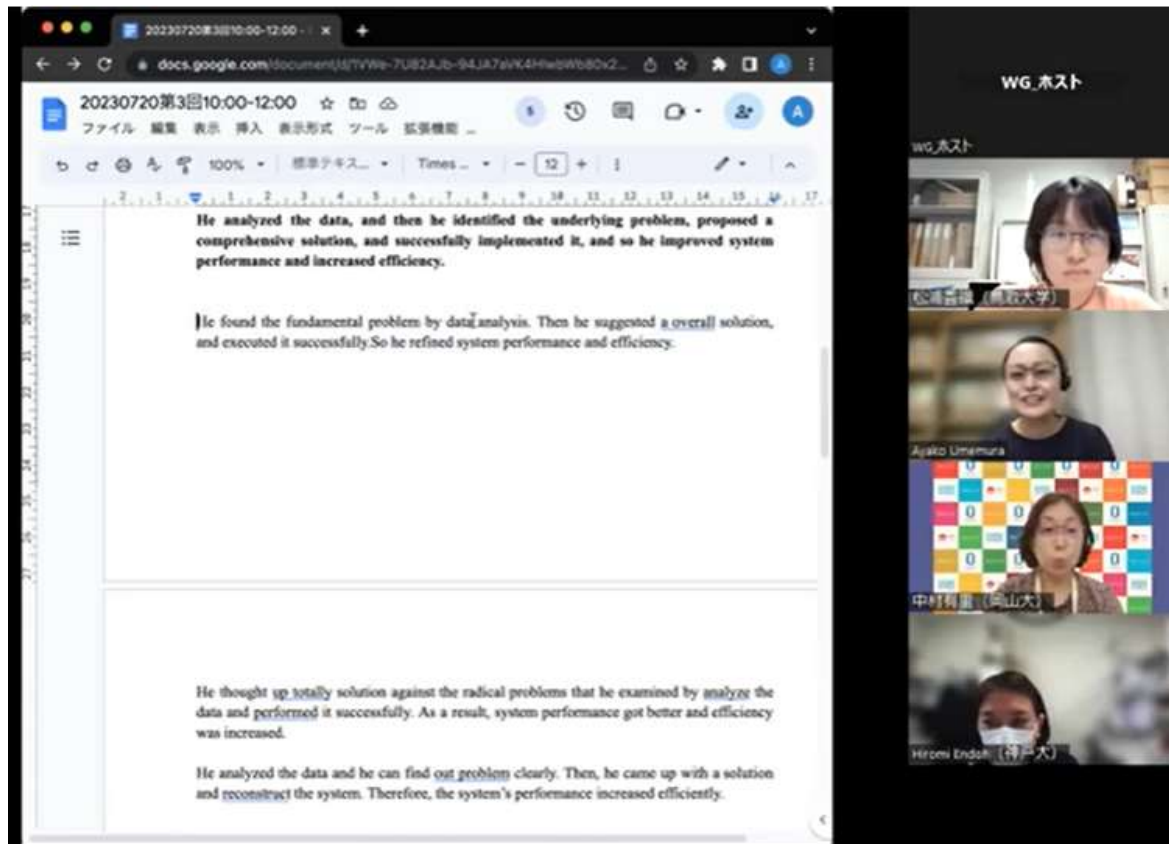
【事前提出物】英文（2文）について意味を変えないように自分の言葉（英語）で書き換えて読みやすい文章にする

【参加者】12名

【報告】事前課題の課題文（2文）は、いずれも内容が伝わりにくい文章でした。研修では、なぜ意味が伝わりにくいのかについての解説がありました。事前課題として参加者が提出した文章を全員で読み合いました。講師からの事前課題の添削や参加者からの質問についての解説が行われました。各自が取り組んだ英文を自分も含めて再度読むことにより、文章にしっかりと向き合うことで、「伝わる英文」を作成するための感覚を養うことができたものでした。また、文法的には問題ないが一般的に好ましくない用法などの解説や、単語の持つ深い意味の解説があり、非常に内容の濃い研修内容でした。

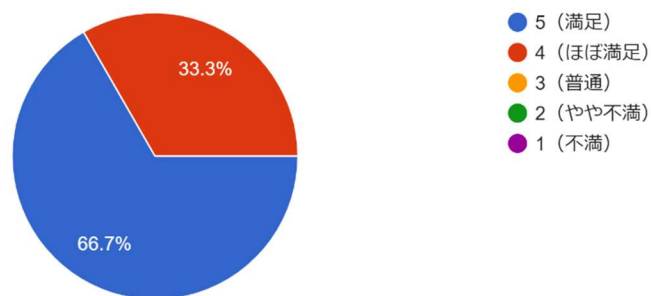
当日課題は3題ありました。参加者は講義の内容を生かして取り組んでいました。一部難しい課題もありましたが、参加者はそれぞれ頑張って取り組んでいました。

## 【当日の様子】



【アンケート結果】回答数 12

### 研修の満足度



### 研修の良かった点

- ・話し言葉と書き言葉の違いを知れたこと
- ・梅村先生の丁寧なご指導と声を発しやすい環境
- ・Paraphrase を恥ずかしくもしっかりと勉強したことがなかったのですが、Paraphrase を練習することによって、英語をより英語らしく捉えることができそうだと感じました。

- ・英語が苦手+嫌いでも、あまり緊張せず、楽しく参加できました。
- ・採点やチェックではなく、改善という形でアドバイスを頂けたので、苦手ながらなんとか書いた文章でも、あながち間違いではないのかなと少し自信が持てました。"
- ・予め出された課題だけでなく、短時間で新たな課題で文章を要約する実践ができたこと
- ・文法的には間違っていなくてもあまり使わない表現など、色々な英語表現について学ぶ事ができた
- ・意見を交わしながら進めることで、いろいろな発想や観点からの表現を学べるところ
- ・質問をしやすい雰囲気進めてくれたので話やすかった。
- ・いろいろな表現方法が学べた。どの書き方がどのような印象を受けるか（学術的、口語的、カジュアルなど）も知ることができ、使い分けを考えないといけないと思った。
- ・聞きたいことが聞けました
- ・類義語や使い方の違いを分かりやすく英英辞書をもとに英語でも説明してくれたこと。
- ・パラフレーズについて、ほかの参加者の表現方法も参考になった。

#### 今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・直近で必要とされる場面はないが、将来的には役立つこともあるかもしれない
- ・副詞の位置や言い回しなど、すぐに役立ちそうなものがたくさんあった
- ・学生とのメールのやり取りや説明に活かせそうだと思います。
- ・英語→英語の書き換えについては、実際の業務では使うことは少ないのですが、書き換える際に行う文章の理解や要約、どうすれば相手に伝わりやすいのかと考える事は、注意喚起やルールへの掲示等の文章を書く際に、とても役立ちそうだと思います。(英語表記だけでなく、日本語表記する際も役立ちそうです。)
- ・ホームページなど英訳する時に色々な言い方を考えられそうです。
- ・留学生の対応や、マニュアル作り
- ・業務上、必要な情報を正しく伝えることはとても重要なので、それをどう表記するのがよいか考えるのに役に立ちそうです
- ・海外からの来賓対応をする自信がついた。
- ・大学の求める国際化や研究力アップに。
- ・入口の説明だけでもなんとかできるようになりそうです。
- ・注意喚起の掲示物更新やオペトレで利用できそうなフレーズを提案いただいた。
- ・留学生に向けて英語の資料を作成することがよくあるので、わかりやすい資料を作成できるように表現方法を学べたと感じた。

#### 今回の研修の感想・改善点や、今後の技術英語研修に期待することなど

- ・意見交換のとき、どう発言すればいいのか困った
- ・もっと広く技術職の人がこの研修を知る機会があればいいと思った

- ・どんな意見もいつも受け止めてくれ、研修を受けていて楽しいです。留学生が何を言っていたかわからないことも多いのでリスニングの練習もできると嬉しいです。
- ・今の研修が十分楽しいので、そのまま長く続けて頂きたいです。
- ・自分の英語の勉強の最終目標が In other words or you mean . . . ? (つまり) で人の言ったことを要約することだったので、日頃から Paraphrasing という方法で勉強していけばいいんだと思いました。ありがとうございました。自分が言い換えた英文があっているかどうかは ChatGPT にでも聞いてみようと思います。
- ・いつも楽しく勉強させていただき、ありがとうございます。
- ・伝わりにくい文章というのは、相手に自分の意図していない解釈をさせてしまうことがあるというのがよく分かりました。
- ・化学系の英語を学ぶ機会があると嬉しいです。
- ・まだまだ英語が苦手なので、続けて参加したい。要約はもっと頑張らないといけないと思った。
- ・研修中にも言いましたが、メールの書き方。特にルールやマナーがあるのであればお聞きしたいです。
- ・文献を読み意味を明確につかむことも今後必要になってくると思われるので、日頃からパラフレーズングに慣れていくことは、その足掛かりになると思ひ挑戦したいと思ひます。
- ・梅村先生のおかげで緊張せず楽しく毎回英語を学べております。